

熊本のすがた

(1) 地形

九州中部の西側に位置する熊本県は、東西143キロメートル、南北127キロメートル、総面積7,404.66平方キロメートルで全国では15番目の広さ、九州では鹿児島、宮崎について3番目の広さとなっています。

北は筑肥山地、東は九州山地、南は国見山地に囲まれ、それぞれの山地を挟んで北は福岡県、東は大分県、宮崎県、南は鹿児島県と接し、西は有明海、八代海に面し、外海の東シナ海へと続いています。

熊本を代表する山に阿蘇山があります。阿蘇山は現在活動中の火山で、カルデラは直径が東西17キロメートル、南北25キロメートル、外輪山の延長128キロメートルと世界一の大きさを誇っています。

カルデラ内には阿蘇五岳（根子岳、高岳、中岳、烏帽子岳、杵島岳）が連なり、中でも中岳は火口がのぞける火山として有名です。

県内を流れる大きな川は、北から菊池川、白川、緑川、球磨川があります。菊池川の上流にある菊池渓谷、白川上流の白川水源は、環境庁（現：環境省）の全国名水百選の一つに選ばれています。また、球磨川は日本三急流の一つに数えられています。

熊本には、内海として有明海、八代海があります。また、天草島の西には外海の東シナ海が広がっています。

(2) 九州各県の面積（2004年）

（単位：平方キロメートル）

	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県
総面積	4,975.21	2,439.54	4,094.64	7,404.66	6,339.15	7,734.77	9,187.54	2,274.32
森林面積	2,228.55	1,096.86	2,429.52	4,523.24	4,499.45	5,874.41	5,896.60	1,047.29
自然公園面積	881.07	268.84	740.91	1,556.36	1,748.49	917.84	821.28	366.92
可住地面積	2,741.39	1,340.11	1,619.32	2,746.56	1,770.23	1,835.37	3,243.34	1,162.07

森林面積については2000年の数値。



参照)

2006年「社会生活統計指標」(総務省統計局)

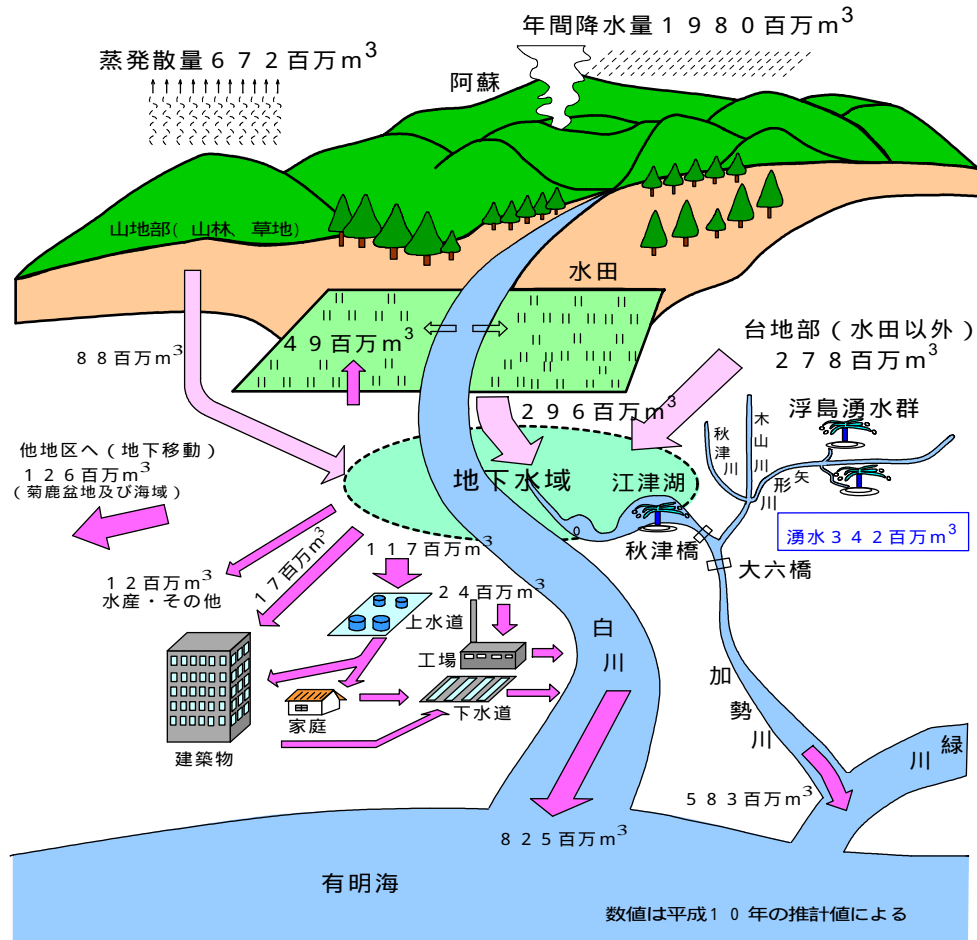
水の循環

水は、太陽エネルギーを受けて海などから蒸発し、雨や雪となって地表に降り、地下水や河川の流れ等となって再び海に戻ります。こうした自然の水の大循環の下、地表に降った水は家庭や工場、田畑のかんがいや発電に使われたり、公園の池や噴水等で私達に潤いを与えてくれるとともに、多くの生命を育みながら、様々な大きさの循環を繰り返しています。

このように、私達は自然の大循環のなかで、河川や池・湖沼、地下水などとして存在する水の一部を利用して生活を営んできたわけですが、近年は水需要の増化に加えて、生活排水や産業排水による水質汚濁の問題、地球規模の環境変化による異常少雨あるいは異常多雨の頻発など、水を取り巻く環境に大きな変化が見られます。

これからの水利用を質・量ともに安定させるためには、自然の水循環を守る方策、すなわち森林や農地など水源かん養域の保全・整備、排水の水質浄化、過剰取水の抑制等に積極的に取り組んでいくことが重要です。

熊本地域における水循環イメージ図



参照)

平成14年3月「熊本県水資源総合計画」(熊本県)